

みちのく潮風トレイル全線開通について

環境省では、東北太平洋沿岸地域の復興の取り組みのひとつとして、青森県八戸市から福島県相馬市までの約1,000kmを一筆書きでつなぐ「みちのく潮風トレイル」を進めてきました。

これまで未開通であった区間が開通する運びとなり、これにより青森県八戸市から福島県相馬市まで一筆書きでつながります。

東松島市では、赤井地区から宮戸地区までの沿岸部約21km（約8時間）のコースとなっております。（別添資料参照）

また、全線開通に伴い、下記により記念式典とシンポジウムが開催されますのでお知らせします。

記

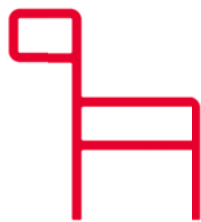
【みちのく潮風トレイル全線開通記念式典・シンポジウム】

- 1 開催日時：令和元年6月9日（日）13時30分～17時
- 2 場 所：名取市文化会館大ホール（名取市増田字柳田520番地）
- 3 主 催：環境省東北地方環境事務所、名取トレイルセンター運営協議会
- 4 参加申込：事前申込不要（どなたでもご参加できます）
- 5 内 容：
 - （1）記念式典 13時30分～14時45分
公式トレイルマップの手交式、環境大臣による全線開通宣言、全線28市町村からのメッセージ等
 - （2）シンポジウム 14時45分～17時00分
基調講演：市毛良枝さん（歩いて楽しい！）
パネルディスカッション：ロングトレイルの魅力とみちのく潮風トレイルの可能性
パネリスト：なすびさん、多田稔子さん、土屋智哉さん、渡邊綱男さん
司会：木村宏さん

(参考) 宮城オルレとの違い

共通：ゆっくり楽しみながら歩き、文化や歴史、自然などを五感で感じ、体験する。

	宮城オルレ	みちのく潮風トレイル
設置主体	宮城県	環境省
距離	約10km (コースにより異なる)	総延長約1,000km (東松島市区間:約21km)
コースの特徴	主に未舗装路	主に舗装路
標識	カンセ、矢印、リボン等	キロポスト、テープ、プレート
利用者	オルレ愛好家、東松島市民、 訪日外国人等	ロングトレイル愛好家、 訪日外国人等



カンセ



キロポスト



テープ